

法人企業景気予測調査

(令和5年1-3月期調査)

宮城県分

令和5年3月13日
財務省東北財務局

【調査要領】

1. 調査の目的と根拠

我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施した。

2. 調査対象の範囲

資本金1千万円以上の法人企業。
ただし、電気・ガス・水道業及び金融・保険業は資本金1億円以上を対象。

3. 調査時点 令和5年2月15日

4. 調査対象期間

判断項目: 5年1~3月期又は3月末見込み、5年4~6月期又は6月末見通し、
5年7~9月期又は9月末見通し

計数項目: 3年度実績、4年度実績見込み、5年度見通し(計画)

5. 調査対象企業数及び回収率

区分	製造業	非製造業	全産業
調査対象企業数	39	146	185
回答企業数	39	143	182
回収率%	100.0	97.9	98.4

財務省東北財務局 経済調査課
TEL 022-263-1111 内線 3157
<https://lfb.mof.go.jp/tohoku/>

1. 企業の景況判断… 現状は「下降」超幅が拡大
先行きは「下降」超で推移する見通し

(現状判断)

5年1～3月期の企業の景況判断BSIは、全産業では「下降」超幅が拡大している。
業種別にみると、製造業は「下降」超幅が拡大しており、非製造業は「下降」超に転じている。

(先行き見通し)

先行きは、全産業では「下降」超で推移する見通しとなっている。

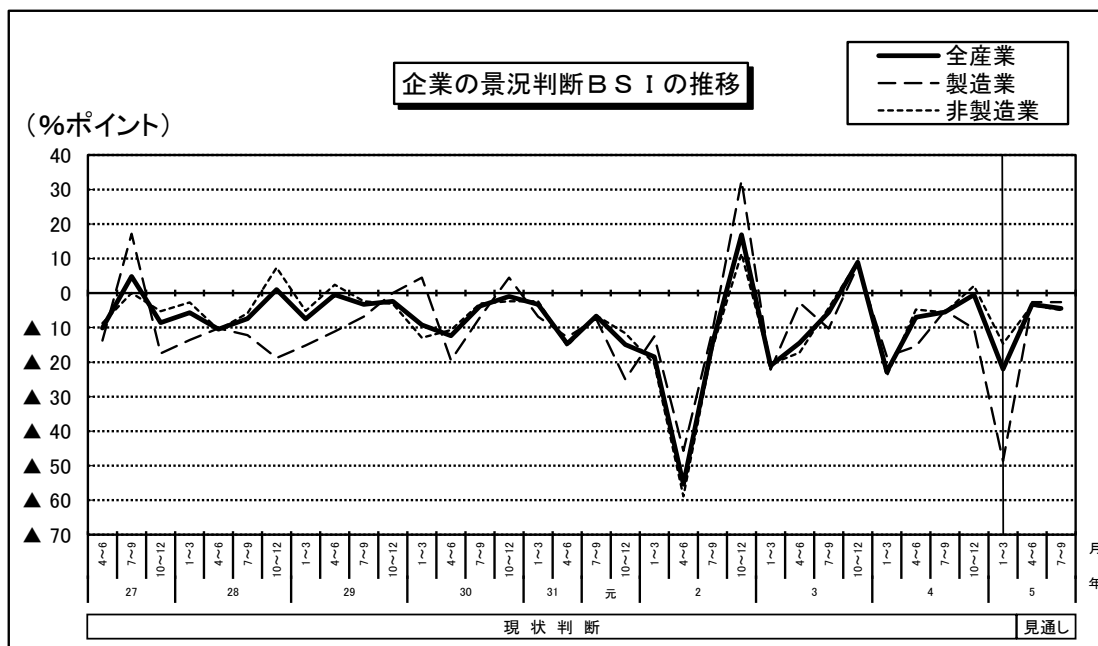
企業の景況判断BSI【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位：%ポイント)

区分	4年10～12月 (4年10-12月期調査)	5年1～3月 現状判断	5年4～6月 見通し	5年7～9月 見通し
全産業	(▲ 0.5)	(▲ 7.7) ▲22.0	(▲ 3.8) ▲ 3.3	▲ 4.4
業種別				
製造業	(▲10.3)	(▲12.8) ▲48.7	(2.6) ▲ 2.6	▲ 2.6
非製造業	(2.1)	(▲ 6.3) ▲14.7	(▲ 5.6) ▲ 3.5	▲ 4.9

(注) () 書きは前回調査結果



2. 国内の景況判断… 現状は「下降」超幅が拡大
先行きは「下降」超幅が縮小する見通し

(現状判断)

5年1～3月期の国内の景況判断BSIは、全産業では「下降」超幅が拡大している。
業種別にみると、製造業は「均衡」から「下降」超となっており、非製造業は「下降」超幅が拡大している。

(先行き見通し)

先行きは、全産業では「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

国内の景況判断BSI 【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位：%ポイント)

区 分	4年10～12月	5年1～3月		5年4～6月		5年7～9月	
	(4年10-12月期調査)	現 状 判 断		見 通 し		見 通 し	
全 産 業	(▲ 7.5)	(▲ 15.6)	▲ 25.2	(▲ 7.5)	▲ 4.1	▲ 2.0	
業 種 別	製 造 業	(0.0)	(▲ 17.9)	▲ 40.0	(10.7)	▲ 3.3	▲ 3.3
	非製造業	(▲ 9.2)	(▲ 15.1)	▲ 21.4	(▲ 11.8)	▲ 4.3	▲ 1.7

(注) () 書きは前回調査結果

3. 売上高… 4年度は増収見込み
5年度は増収見通し

4年度の売上高は、製造業で10.0%、非製造業で5.2%の増収見込みとなっており、全産業では7.2%の増収見込みとなっている。

5年度の売上高は、製造業で6.0%、非製造業で1.9%の増収見通しとなっており、全産業では3.0%の増収見通しとなっている。

売上高

(前年度比増減率：%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	4 年 度	(5.9)	10.0	(4.4)	5.2	(5.0)
5 年 度		6.0		1.9		3.0

- (注) 1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数
2. () 書きは前回調査結果
3. 集計企業数は4年度 130社 (うち製造業30社、非製造業100社)
5年度 110社 (うち製造業28社、非製造業82社)

**4. 経常利益… 4年度は増益見込み
5年度は増益見通し**

4年度の経常利益は、製造業で4.4%の減益見込みとなっているものの、非製造業で2.6%の増益見込みとなっていることから、全産業では0.3%の増益見込みとなっている。

5年度の経常利益は、製造業で1.0%の減益見通しとなっているものの、非製造業で3.3%の増益見通しとなっていることから、全産業では1.5%の増益見通しとなっている。

経常利益

(前年度比増減率：%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	()	▲	()	▲	()	▲
4 年 度	(4.8)	▲ 4.4	(1.8)	2.6	(2.8)	0.3
5 年 度		▲ 1.0		3.3		1.5

- (注) 1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数
 2. () 書きは前回調査結果
 3. 集計企業数は4年度 129社 (うち製造業30社、非製造業99社)
 5年度 109社 (うち製造業28社、非製造業81社)

**5. 設備投資… 4年度は増加見込み
5年度計画は増加見通し**

4年度の設備投資は、非製造業で5.0%の減少見込みとなっているものの、製造業で20.0%の増加見込みとなっていることから、全産業では2.5%の増加見込みとなっている。

5年度の設備投資計画は、製造業で175.7%、非製造業で27.6%の増加見通しとなっており、全産業では52.9%の増加見通しとなっている。

設備投資

(前年度比増減率：%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	()	▲	()	▲	()	▲
4 年 度	(45.2)	20.0	(9.4)	▲ 5.0	(20.3)	2.5
5 年 度		175.7		27.6		52.9

- (注) 1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く
 2. () 書きは前回調査結果
 3. 集計企業数は4年度 144社 (うち製造業31社、非製造業113社)
 5年度 131社 (うち製造業30社、非製造業101社)

**6. 従業員数判断… 現状は「不足気味」超幅が縮小
先行きは「不足気味」超幅が縮小する見通し**

(現状判断)

5年3月末時点の従業員数判断BSIは、全産業では「不足気味」超幅が縮小している。
業種別にみると、製造業は「不足気味」超幅が拡大しており、非製造業は「不足気味」超幅が縮小している。

(先行き見通し)

先行きは、全産業では「不足気味」超幅が縮小する見通しとなっている。

従業員数判断BSI【原数値】

(期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比)

(単位：%ポイント)

区分	4年12月末 (4年10-12月期調査)	5年3月末 現状判断	5年6月末 見通し	5年9月末 見通し
全産業	(33.8)	(25.0) 29.3	(18.2) 21.8	19.0
業種別				
製造業	(24.1)	(13.8) 30.0	(6.9) 23.3	20.0
非製造業	(36.1)	(27.7) 29.1	(21.0) 21.4	18.8

(注) () 書きは前回調査結果

(参考資料1) 計数調査対象全業種集計結果

売上高

(前年度比増減率：%)

区分	製造業	非製造業	全産業
4年度	10.0	5.7	7.5
5年度	6.0	0.6	2.0

(注) 1. 電気・ガス・水道を含み、金融・保険は含まない(調査対象外)
2. 集計企業数は4年度 132社(うち製造業30社、非製造業102社)
5年度 112社(うち製造業28社、非製造業84社)

経常利益

(前年度比増減率：%)

区分	製造業	非製造業	全産業
4年度	▲ 4.4	▲ 0.3	▲ 1.1
5年度	▲ 1.0	7.1	4.3

(注) 1. 電気・ガス・水道、金融・保険を含む
2. 集計企業数は4年度 142社(うち製造業30社、非製造業112社)
5年度 119社(うち製造業28社、非製造業91社)

(参考資料2) 設備投資(土地購入額を含み、ソフトウェア投資額を除く)

(前年度比増減率：%)

区分	製造業	非製造業	全産業
4年度	22.6	▲ 5.1	4.1
5年度	173.9	10.5	45.5

(注) 1. 石油・石炭、電気・ガス・水道を除く
2. 集計企業数は4年度 142社(うち製造業31社、非製造業111社)
5年度 127社(うち製造業30社、非製造業97社)